

# 学びあい育ちあい推進審議会 令和4年2月定例会要点録

---

令和4年2月17日（木曜）

出席委員	学校教育の関係者	
	委員	伊藤 映二
	社会教育の関係者	
	委員	青木 ひとみ
	委員	布施 栄子
	家庭教育関係代表	
	委員	鶴澤 千秋
	学識経験者	
	委員	炭谷 晃男
	公民館利用者代表	
	委員	野口 享子
	委員	中川 雄介
	公募市民	
	委員	安藤 慎次
	図書館協議会代表	
	委員	大島 真理子

欠席委員 梅澤委員、鯨井委員、野々村委員、細田委員、小林委員

出席職員	教 育 長	千葉 正法
	教 育 部 長	鈴木 恭智
	永山公民館長兼関戸公民館長	北方 静史
	図 書 館 長	横倉 妙子
	教育協働担当課長	室井 裕之
	文化財・教育企画担当課長	齊藤 義照

---

(開会時刻：14時30分)

議事録署名委員：大島委員

議事次第・配布資料

〔報告事項〕

1 令和3年度地域学校協働活動推進委員会の開催について	【資料 1】
2 公民館事業進捗状況について	【資料 2】
3 公民館施設別使用状況について	【資料 3】

〔協議事項〕

1 学びあい育ちあい推進審議会の提言「多摩市におけるこれからの社会教育施設のあり方について」	【資料 4】
--	--------

〔連絡事項〕

1 第13回子ども読書まつり ほんともフェスタの開催について	【当日配布】
2 「多摩市立多摩ふるさと資料館の内覧会」について	【当日配布】

会 長 :	ただいまの出席委員は、8名である。定足数に達しているため令和4年多摩市学びあい育ちあい推進審議会2月定例会を開始する。会議録署名委員は大島委員にお願いする。まず、資料の確認をお願いする。
事 務 局 :	— (教育企画担当課長より資料確認) —

〔報告事項〕

1 令和3年度地域学校協働活動推進委員会の開催について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料 1】

教育協働担当課長	1月20日に地域学校協働推進員7名、学びあい育ちあい審議会委員4名、市職員3名にて開催した。事前に地域学校協働推進員から活動するにあたっての課題等をあげていただき、テーマを絞って意見交換をした。一つ目のテーマは「人探し」とし意見を伺った。推進員からどこから声をかけてよいかわからない、推進員の後継者、協力員の増やし方について不安を持っているという話があり、審議会委員から、大学生の協力や依頼ルートについて話があった。二つ目のテーマは「事業の周知」についてで、学校管理者が変わった際の事業内容や方針の確認方法や学校関係者の認知度の低さについて。審議会委員からは、周知には段階があること、学校だよりやチラシの活用、関係団体の協力などの意見をいただいた。今年度はコロナ禍の中、活動が難しかった。地域学校活動の課題はすぐに解決しないものもあるが、今後も事務局で引き続き推進員をサポートしていきたいと考える。
会 長 :	参加した方の感想をお願いしたい。
委 員 :	皆さん苦勞しながら活動している。特に新しくなった方はとても苦勞していると感

		じた。引継ぎ等が十分ではなかったと伺った。うまく動き出すまでは難しいが、動き出してしまえば順調にすすむのではないかと。
委	員：	自身放課後見守り隊の手伝いをしている。今後、学習指導員の担い手を確保していくのは大変だと感じた。コロナ禍の中で、委員同士が情報共有する機会がなく、情報交換ができる場があれば良いと感じた、今後の活動に期待する。
会	長：	人の問題、PR の問題、大変苦勞していると感じた。参加者の中に学校の先生がいることに驚くと共に多摩市の良さを感じた。退職後、地域や子どもたちに関わって活動をしている方が沢山いることは誇るべき。PR の問題は、学校から積極的に紹介してもらい、保護者や地域に向けてどのように発信していくか、発信することによって人探しにつながる。今後も手探りだが進めてほしい。

## 2 公民館事業進捗状況及び施設別使用状況について・・・・・・・・・・・・・・・・【資料2・3】

公	民 館 長：	各事業については、コロナの影響があり慎重に進めている。実際に講師、出演者で発熱があり、延期をしたものもあった。そんな中で、永山公民館事業で市民・時事問題講座の市民講座 YouTube「動画づくりのはじめの一步」を報告する。昨年度から開催した講座で、今年度は動画作りについて一步踏み出してみようという事業として、全4回開催した。この事業については、多摩市と日野市共同で行い、最終回ではオンラインで結びお互いの作品を視聴する。公民館通信「たのしいまち」が300号を迎える。35年間以上発行しているもので、現在は隔月で発行、後日皆様に配布したい。次に施設使用状況だが、やはりオミクロン株の影響を受けて、かなり落ち込んだ。コロナの影響でのキャンセルについては全額返金している。今後も感染防止に努めていきたい。
会	長：	オミクロン株の急速な拡大で施設の使用制限はあったのか。
公	民 館 長：	いままでの制限を継続している。

### 〔協議事項〕

## 1 学びあい育ちあい審議会の提言「多摩市における社会教育施設のあり方」について・・・【資料4】

事	務 局：	昨年11月、先月と2回にわたって審議いただいた内容をもとに作成した。一部表現方法を変更した点と「おわりに」を会長に記載いただき追加した。
会	長：	「おわりに」については、2018年の提言を骨格とし、今後の具体策を提言したこと。新たな社会教育施設が充実するにあたり、ハード部分だけでなく、ソフトの部分も充実させてもらいたい思いを記載した。第5期審議会はまさしくパンデミックと重なり記憶に残るものとなり、その中でも、オンラインで開催するにあたり新しい局面に対しチャレンジされた事が印象的だったので記載した。最後に、設置から10年になる審議会について原点に戻って足腰を強くしていく必要があるのではと思い記載した。
会	長：	特に意見がないようであれば、本提言については決定校とし、来月中には教育長へ渡すこととする。最後に、携わってきた委員、事務局に感謝する。

〔連絡事項〕

1 第13回子ども読書まつり ほんともフェスタの開催について・・・・・・・・・・〔当日配布〕

図書館長：	子どもの読書活動の推進をテーマに、子どもから大人までのすべての方に向けて、講演会や特別おはなし会、子どもの読書活動を紹介する展示を開催する、期間は2月26日から3月31日まで。特別おはなし会については各館で行う。講演会については、感染症をテーマとした。図書館としては本の情報だけでなく様々な情報提供をしていきたいと考えている。
-------	---

2 「多摩市立多摩ふるさと資料館の内覧会」について・・・・・・・・・・〔当日配布〕

教育企画担当課長：	市民活動交流センター及び多摩ふるさと資料館の開館記念式典の案内を配布した。出欠の回答をお願いします。
-----------	--

〔その他〕

会 長：	新型コロナウイルスと重なった2年間だった。審議会も文書協議やオンラインと試行錯誤を行った。審議会ばかりではなく世界中の人々が色々な努力をしてきた。審議会でも色々な経験をした。その中で最後に提言をまとめ形になるものを残せてよかった。みなさんの協力があったの賜だと思う。大変感謝している。いつも提言をまとめる時考えるのが、実際にどの程度いかされるのか、そこが一番大切だと思う。提言は市民、委員の意見をまとめたもので全て実行するとはとらえていない。教育委員会が提言を受け止めて、必要なものを実行していただくものと考えている。市民の立場から、この提言の今後の進捗状況を見守ってほしい。今後の審議会は以前に比べ回数が減り、委員の人数も減ることとなる。これが多摩市の社会教育の後退、縮小とならないように、次期委員のみなさんには中身の議論をより活発に今後とも学びあい育ちあい推進審議会が発展していくことを願う。
教 育 長：	第5期学びあい育ちあい推進審議会委員のみなさまから、一言ずつ話を伺い、これまで積み上げてきた、多摩市の社会教育の在り方、施設の活用の仕方を改めて振りかえり、新たに提言をいただき、実際に達成されることが大事だと認識している。コロナ禍の中、事務局として十分なことができなかつた反省しつつ、引き続き多摩市の社会教育の在り方については、様々なところで助言をいただきたい。これからいただく提言については、事務局で十分に咀嚼、活用していくことを約束する。

(1時間00分)

(閉会時刻15時30分)

会議規則第10条第4項によりここに署名する。

令和4年 月 日

会長

委員